



## 自己を伸ばし、自己を活かす<sup>い</sup> ～変化を恐れない～

4月6日。奇しくもこの地の桜満開予想日と重なり、清須の桜も見事に咲き誇っています。新川高等学校第32回生を迎えました。

新川生を迎えるにあたり、今回も二つのことを話しました。大切なのは、3年間でどこまで伸びたか、「伸びた距離」、そして「人を思いやること」の大切さです。

新年度、学校生活の始まりという意味ではみんな同じスタートライン立っています。でも、みんなが持っているものは同じではありません。16年以上も生きてくれば、得意・不得意もある、好き・嫌いもある、それぞれの持ち味は多様で、それぞれに違い、それぞれが豊かです。だから、他者、他人との比較ではなく、自分がどこまで伸びたかが大切です。

そのためには、何が必要か。もちろん、個人の頑張り、コツコツとひたむきに努力する、最後まであきらめない粘りは必要ですが、それだけでは限界があります。みんなで学び合う、クラス、学年、部活動、気の置けない友達、その中には先生も巻き込んでみんなで最後まで頑張る—これが大切です。

この春卒業した生徒が3月末に校長室に来てくれました。その生徒は、「1年生の時は、本当に自分はどうなるのか、新川を続けられるのかと思っていたけれど、3年間で本当に成長することができた。2月中には進路が決まらず、一番苦しかったのは3月1日の卒業式の後も勉強をしていたこと、でも新川だったから最後まで頑張れた。」としみじみ語ってくれました。この4月から大学生活を送っています。

こういうとき、教師冥利に尽きるなと思います。担任をもっていたときは、「高校なんて、私なんてあなたたちの通過点に過ぎないから」とか言って、「先生、何、かっこつけとんの！」と生徒に言われていましたが、本当に嬉しい瞬間です。

「学ぶということは自分が変わること」、そして、「変化を恐れない」という話もしました。さまざまな場面で、こんなこと知らなかった！こんな考え方があるのだ！こうすればいいんだ！なんて面白いのだろう！・・・こうした気づきのワクワク感が学ぶことの原点です。

学び合いで、自分が変わる一変ることは恥ずかしいことではありません。自分の意見や考えが変わってよいではないですか。視野が広がり、物の見方が多面的になれば、おのずと変わります。

このことは、自分自身の目標でもあります。もう、保護者の中には、自分の教え子もいる、そんな年齢になりました。でも、ある文章で、「永遠の発展途上人たれ」ということばを見つけました。今、私はこのことばにはまっています。

私の目標はさておき、平成 29 年度の新川高校の目標を

### **「自己を伸ばし、自己を活かす」**

にしました。生徒のみなさんが、自分の力を伸ばし、この学校の中のどこかで自分を活かしていくことができる、そんな1年にしたいと考え、決めました。サブタイトルは「変化を恐れない」です。

充実した1年になるよう、共に頑張りましょう。

(4月7日(金)始業式での式辞より)